

---

敦賀発電所2号炉  
新規制基準適合性に係る現地調査資料  
(K断層の活動性評価)

資料6  
海上ボーリングNo.2孔に関するボーリングコア資料

令和5年12月14, 15日  
日本原子力発電株式会社

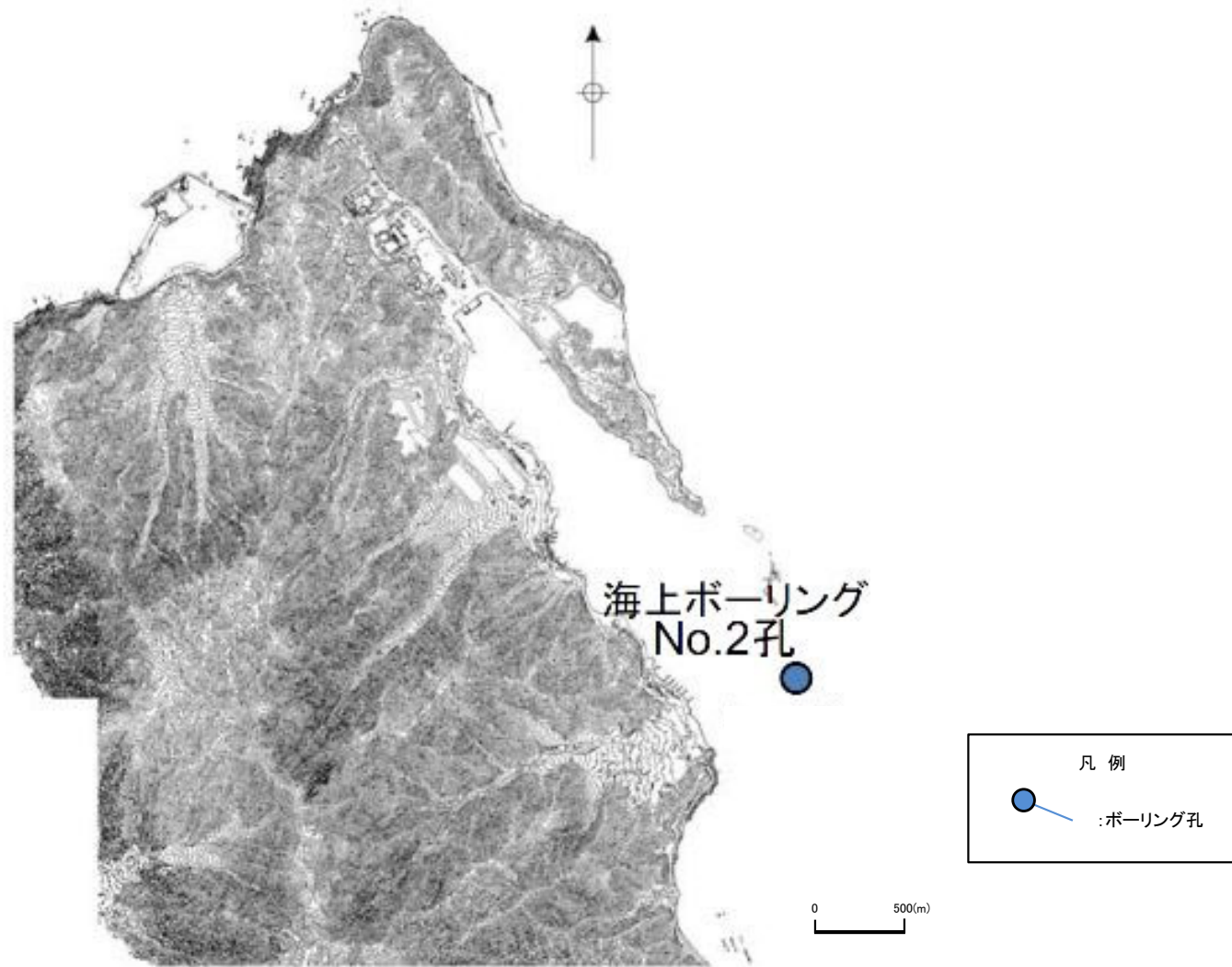
余白

# 目次

調査地点位置図	5
海上ボーリングNo.2孔 調査結果	7
海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真	8

余白

# 調査地点位置図

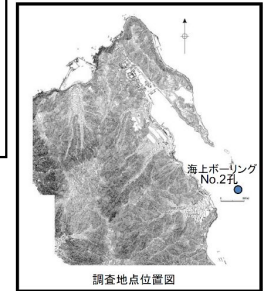


調査地点位置図

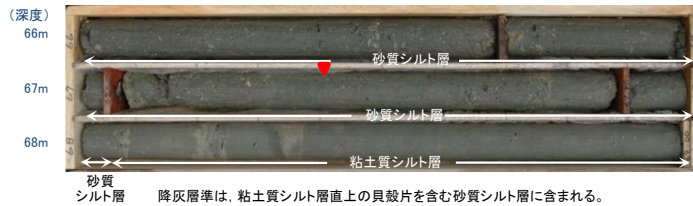
余白

# 海上ボーリングNo.2孔 調査結果

- 海上ボーリング調査の結果によれば、明神沖テフラは、鬼界葛原テフラ(K-Tz)の下位の海成層(貝殻片を含む砂質シルト層)中に見られ、花粉分析の結果、温暖な気候を示すアカガシ亜属を多く含み、MIS5eの最高海面期(約12.3万年前)に堆積した地層であると判断されることから、同テフラの降灰年代は、MIS5eの最高海面期と判断した。
- なお、海上ボーリングの明神沖テフラよりも下位の深度75m付近の礫混じり粗砂層中には美浜テフラが分布している。



明神沖テフラ(Mj)の降灰層準(♥)

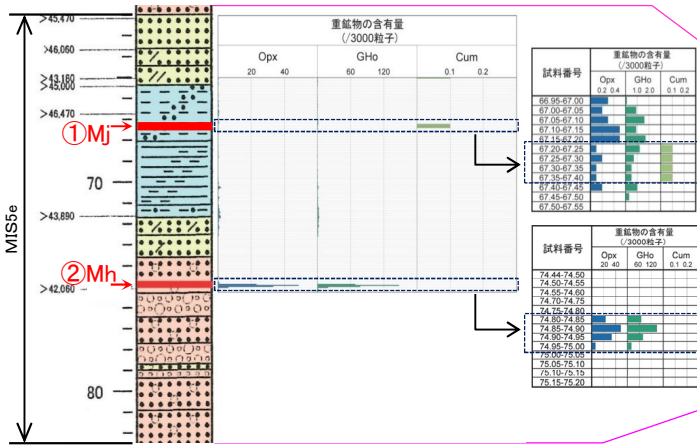


美浜テフラ(Mh)の降灰層準(♥)



コア写真

海上ボーリング No.2 (MIS5e層準)



MIS5e層準の地質とテフラ分析結果

No.2孔  
孔口標高-18.84m



柱状図凡例  
シルト  
砂  
砂礫

展示しているコアの範囲

本本花粉中の構成比率

●は1%未満の産出  
+は産出が少ない試料における産出

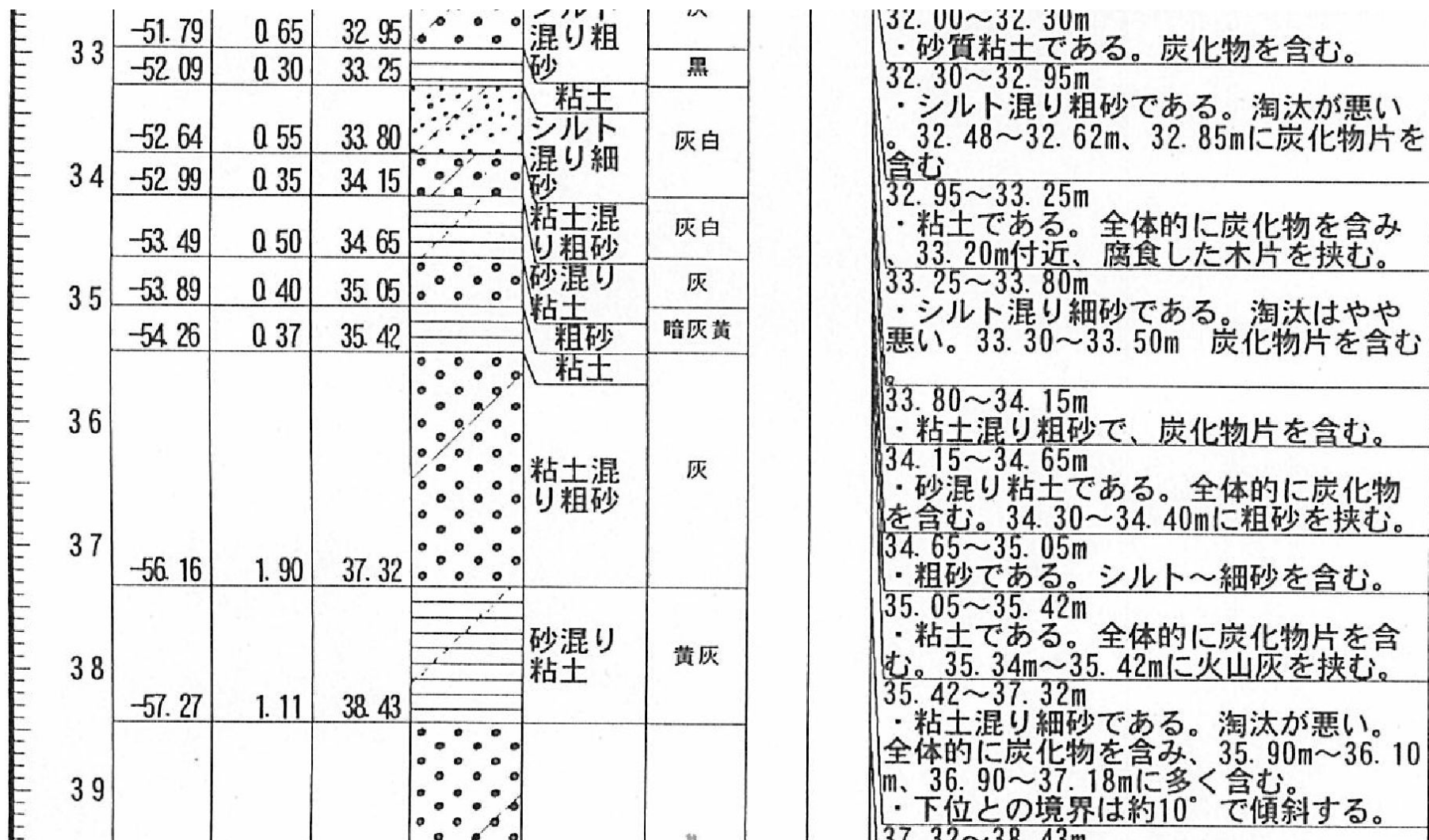
石炭質ナノ化石の産出  
(石灰質ナノ化石はすべて海生である。)

明神沖テフラ(Mj)が産出した付近で温暖な気候を示すアカガシ亜属の花粉を多く含む箇所

海上ボーリングNo.2孔の花分析結果

海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度33m~36m)

ボーリング柱状図





海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度33m~36m)

コア写真



海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度51m~57m)

ボーリング柱状図

51					砂礫	灰白	<p>50. 10~51. 98m                      ・砂礫である。径10~40mm(最大60mm)の亜円~亜角礫を含む。礫種は花崗斑岩礫が多く、砂岩、頁岩、花崗岩、チャート、石英を含む。基質は粗砂を主体とする。全体的にしまっているものの、容易にくずせる。</p> <p>51. 98~54. 10m                      ・粘土混り粗砂である。淘汰が悪く、細礫を含む。堆積構造は水平~20°の傾斜でばらついている。                      ・51. 98~52. 12m 炭化物片を挟み52. 62~52. 70m、52. 78~52. 86mは粘土を挟む。                      ・52. 93m付近、炭化物片を含む。53. 49~53. 82m間、炭化物の薄層を挟む。</p> <p>54. 10~54. 97m                      ・粘土混り砂質シルトである。54. 80~54. 97m炭化物片を含む。堆積構造は5~20°で傾斜する。</p> <p>54. 97~55. 63m                      ・シルト混り粗砂である。淘汰が悪い。55. 04~55. 22m、炭化物片を含む。</p> <p>55. 63~56. 20m                      ・礫質粗砂である。シルト分を含み淘汰はやや悪い。礫は径2~5mm(最大10mm)。</p> <p>56. 20~56. 86m                      ・砂礫である。径5~10mm(最大40mm)の亜円~亜角礫の花崗斑岩、砂岩、頁岩、チャートを含む。56. 55m以深、酸化色が顕著である。下位との境界は約50。</p> <p>56. 86~57. 30m                      ・シルト混り細砂で、淘汰は概ね良い</p>
52	-70. 82	1. 88	51. 98			灰白	
53					粘土混り粗砂	灰	
						灰白	
54	-72. 94	2. 12	54. 10		粘土混り砂質シルト	灰	
55	-73. 81	0. 87	54. 97		シルト混り粗砂	灰白	
56					礫質粗砂	明緑灰	
						砂礫	
57					シルト混り細砂	明黄褐	
58	-76. 84	0. 70	58. 00		礫質粗砂	明黄褐	
	-77. 66	0. 82	58. 82		砂礫		
59							

海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度51m~57m)

コア写真



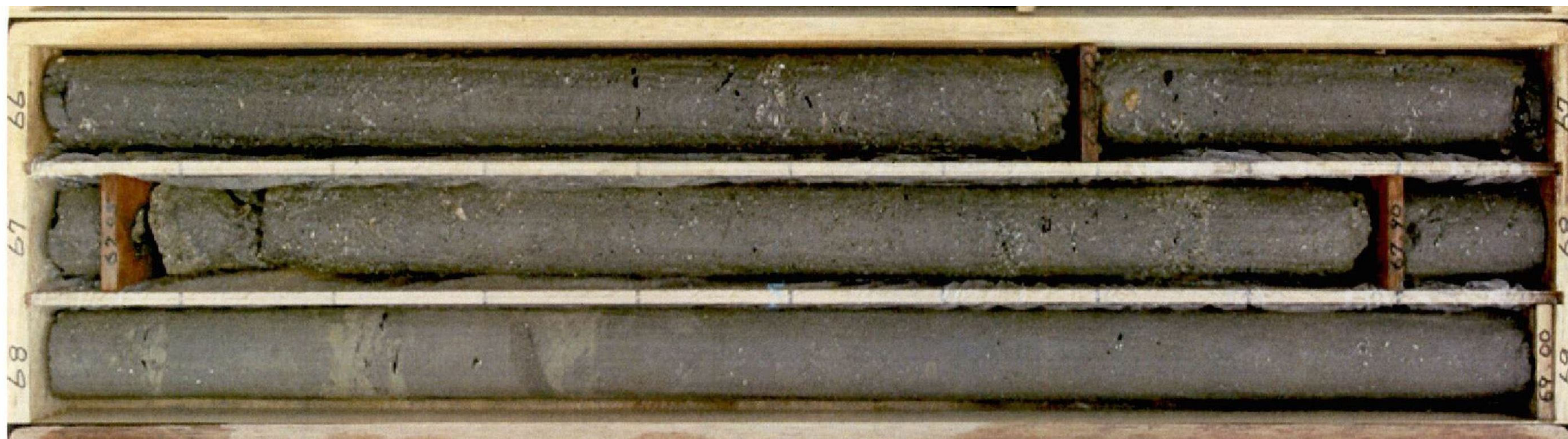
海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度66m~69m)

ボーリング柱状図



海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度66m～69m)

コア写真



海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度72m~78m)

ボーリング柱状図

72 73 74 75 76 77 78 79	-91.39	0.85	72.55		シルト質粗砂	灰黄	炭化物片が散在し、71.10m付近に炭化物の薄層を挟む。
	-92.44	1.05	73.60		シルト混り粗砂		71.70~72.55m ・シルト質粗砂である。細礫を含み、淘汰が悪い。無層理である。
					礫混り粗砂		72.55~73.60m ・シルト混り粗砂である。72.60m付近、径30mmの礫を含み、淘汰が悪い。無層理である。72.58m付近に 径15mmの炭化物片を含む。
	-94.31	1.87	75.47		礫混り粗砂	明緑灰	73.60~75.47m ・礫混り粗砂である。淘汰が悪い。径2~5mm(最大13cm)の亜角~亜円礫を含む。
					礫		74.50m付近を境に上位から下位への酸化色から還元色に漸移する。 75.12m付近 径15mmの炭化物片を含む。
	-95.32	1.01	76.48		礫		75.47~76.48m ・礫である。径5cm以上(最大径35cm以上)の亜角~亜円礫の花崗岩が90%以上を占める。基質はシルト混り粗砂で、しまりが良く指圧ではくずれにくい。
	-96.56	1.24	77.72		礫混り粗砂		76.48~77.72m ・礫混り粗砂である。シルト~細砂を含み、淘汰が悪い。径5~10mmの亜角~亜円礫が多く、径5~15cmの礫が散在する。礫種は花崗岩が90%以上を占める。指圧ではくずれにくい。
	-97.09	0.53	78.25		礫		77.72~78.25m ・礫である。径3cm以上(最大30cm以上)の亜角~亜円礫の花崗岩が90%以上を占める。基質はシルト混り粗砂でしまりは良いものの、指圧でくずれる。
					礫混り粗砂		

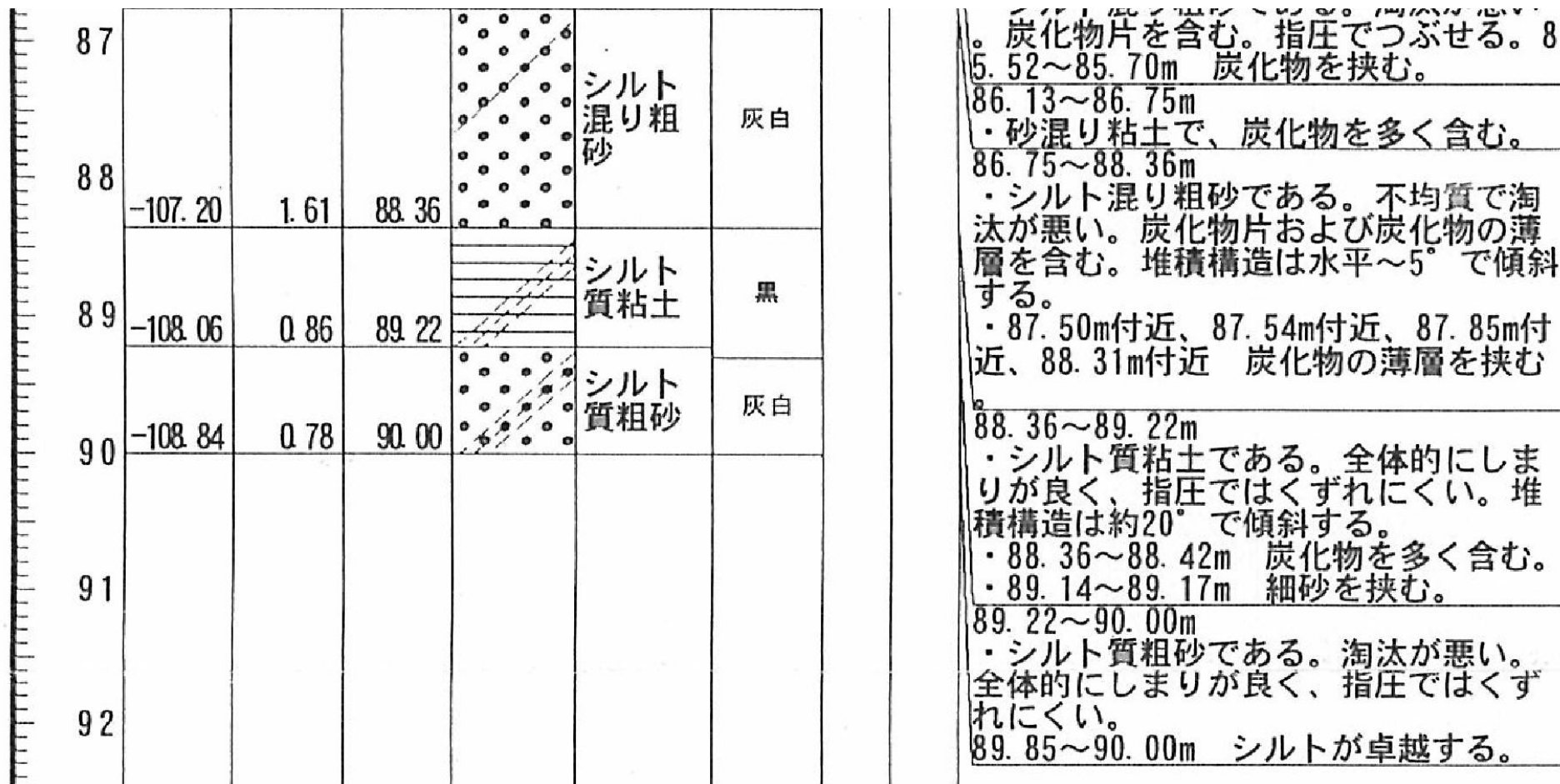
海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度72m~78m)

コア写真



海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度87m~90m)

ボーリング柱状図





海上ボーリングNo.2孔 ボーリング柱状図・コア写真(深度87m~90m)

コア写真

